

# 雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Phone 045-894-7474

## 晩秋・初冬の俳句「ベスト10」

俳句は四季おりおりの自然の美と情感を5・7・5の 17 音にまとめる定型詩で、「季語(季題)」が読み込まれる約束があります。今回は晩秋、初冬に関する季語の名句を集めてみました。近年の気象変化は激しく、季節の移り変わりも薄れがちです。俳句を通して秋から冬への季節の移り変わりを味わっていただければと思います。

### 1. 柿くえば 鐘がなるなり 法隆寺 (正岡子規)

法隆寺の門前の茶店で柿を食べていると、寺から鐘の音が響いてきた。あたりの静けさも相まって、のどかな秋の気分ひたっている。

季語 柿(秋)

### 2. 名月や 池をめぐりて 夜もすがら (松尾芭蕉)

空には名月があり、池にも月の影がうつっている。その美しさに心をうばわれて池をめぐっている内に、一夜を過ごしてしまった。

季語 名月(秋)

### 3. 君が手も まじるなるべし 花すすき (向井去来)

秋の野辺にすすきが風に揺れめいている。別れを惜しむ友人がすすきの穂にまじっていつまでも手を振って送ってくれている。

季語 花すすき(秋)

### 4. 秋深き 隣は何を する人ぞ (松尾芭蕉)

秋も深まり野山がさびしく感じられる頃になると、ひと恋しくなり、つい隣人のこと等が気になってくるものだ。

季語 秋深き(秋)

### 5. 斧入れて 香におどろくや 冬木立 (与謝蕪村)

冬枯れの林で木を斧で切ると、木の香りがただよってくる。表面は枯れているようでも、木の中では生命が脈々と躍動しているのだ。

季語 冬木立(冬)

### 6. 小春日や 石をかみいる 赤とんぼ (村上鬼城)

春のように暖かな日ざしの初冬の日、秋を越えた赤とんぼが、まるで石をかんでいるようにじっととどまっている。

季語 小春日(冬)

### 7. 遠山に 日のあたりたる 枯野かな (高浜虚子)

枯野は日がかげって寒々としているが、遠くにみえる山には冬日があたっていて明るい。

季語 枯野(冬)

### 8. こがらしや 海に夕日を 吹き落す (夏目漱石)

こがらしがすさまじい勢いで吹き荒れている。そのさまは西に傾いた冬の夕日を海に吹き落すかと思われる位の勢いだ。

季語 こがらし(冬)

### 9. 大根引き 大根で道を 教えけり (小林一茶)

大根を引き抜いている農夫が道をたずねられて、大根で方角を教えている。ほのぼのとした光景をよんだ句である。

季語 大根引き(冬)

### 10. 初時雨 猿も小蓑(こみの)を ほしげなり (松尾芭蕉)

山中で時雨が降ってきた。冷たい雨にぬれる猿のすがたは小さい蓑をほしがっているようだ。

季語 初時雨(冬)

## 1. 9月運営会以降の活動実績

- 9月15日(土) 16名 森の作業体験(間伐 4名)、本窯/新ドラム缶窯炭焼き、(体験 4名、) 午後/運営会  
9月16日(日) 9名 本窯炭焼き継続、友の会/定例会・理事会出席 3名  
9月19日(水) 12名 炭焼き後の片付け、指標柱加工、木工製品展示  
9月22日(土) 15名 本窯/ドラム缶窯炭出し、ZFC通信印刷/発送、ログソール架台加工他  
9月26日(水) 6名 駐車場除草(刈払機使用)、ドラム缶窯前面耐火レンガ除却他  
9月29日(土) 11名 クヌギ林園路除草(刈払機使用)、午後勉強会/「PCIに依るZFC通信  
他友の会HPの閲覧方法」  
10月 3日(水) 10名 台風通過後の炭小屋周辺片付け、ドラム缶窯下屋竹樋の改修、  
炭小屋他屋根の落ち葉処理、木工  
10月 6日(土) 12名 炭小屋裏第2区画/伐倒木マーキング、四ツ目垣周辺除草、指標柱設置  
10月10日(水) 8名 新テーブルソー組立て準備、ドラム缶窯周辺片付け、木工  
10月13日(土) 13名 加工用竹材搬出、炭小屋 四ツ目垣シロ結束、テーブルソー組立て、  
四ツ目垣シロ縄取り換え  
10月17日(水) 9名 四ツ目垣シロ縄取り換え、テーブルソー脚部加工、竹細工加工他木工

## 2. 連絡、確認、提案

### (1)新ドラム缶窯、本窯 炭焼き/出炭状況説明 (星隈さん、池澤さん)

#### 新ドラム缶窯炭焼き(竹炭)結果

炭材の置き方 第1窯 炭材をすべて横置き 第2窯 中央に縦置き、周りを横置きした

炭材の重量 1窯 92.5kg 2窯 88.0kg 出炭量 1窯 9.5kg(10.2%) 2窯 9.3kg(10.5%)

未炭率 1窯 7.2% 2窯 16.5%

未炭は 1窯は煙突の出口付近 2窯は焚口から斜め下に向かって多く発生

今回の炭焼に関する意見

- ①炭材準備に十分時間を取り(1ヶ月以上)、竹を乾燥させたほうが良い
- ②炭焼き(乾留)時間が少ない、煙道温度が高い→過去の記録と照らし合わせて検討し、再検証の要あり
- ③昔は縦積みで行っており(藤原さん吉田さんより)、一概に二号窯の縦積み方法が悪かったとは言えない

#### 本窯炭焼き(木炭)結果

15日の9時スタート 16日の16時に精錬を行い、16時30分に窯締めを行った

炭材の重量 473kg 出炭量 94kg(16.0%) 未炭率 3.0%

結果は今までの炭焼と大きな違いはない ただ最適な温度をもっと長く取れればもっと良い結果が得られるのではとの期待もある

### (2)会計報告 (星隈抄状況について説明あり。)

ドラム缶窯の改修費用としてイオンより¥162,000 加工費、煉瓦などの備品購入費などは会からの補充  
約¥122,000

充電式チェーンソーはイオン助成金により決定済 ¥20,000 しかしバッテリーがないと作業時間は10分  
程度でバッテリーの購入の必要あり 約¥6,000 (決定)

今まで経験のない道具なので、使い方や安全対策を十分行う必要あり

### (3)栄区民祭り(11/3土)向け、区政推進課宛の竹細工内容説明 (大越さん、鈴木さん)

竹製品としてぐい飲み 小皿 けん玉などを用意している 25日に片岡さんが市に持ち込む予定

### (4)新ドラム窯改修作業の見通し説明 (星隈さん or 工藤さん)

11月に入って水曜日に工藤さん、大越さん、池澤さん、星隈さんが揃ったときに適時実施する予定

### 3. 10下旬、11月 活動予定

- 10月20日(土) 区民祭り向け竹細工加工、不要木/植栽除伐(手切り)、午後/運営会
- 10月21日(日) 友の会設立30周年記念講演会(於、研修室 9時30分～)
- 10月24日(水) 炭小屋作業/ 当日決定 竹細工加工他
- 10月25日(木) 栄区役所区政推進課宛 完成竹細工の納入(片岡対応)
- 10月27日(土) 炭小屋整理/道具整備、ZFC 通信印刷/発送、午後/勉強会(伐倒の手順/安全対策、講師役/武田さん)
- 10月31日(水) 炭小屋作業/ 当日決定 SF準備
- 11月03日(土) 栄区民祭り友の会ブースへの助勢(池澤、片岡対応予定)、不要木/植栽除伐(手切り)、
- 11月07日(水) 炭小屋作業/ 当日決定 SF準備
- 11月10日(土) 下草刈り(クヌギ林 斜面は鎌で刈り、平面は刈り払機を使用)、午後/保全管理フォローアップ、
- 11月14日(水) 炭小屋作業/ 当日決定 SF準備
- 11月17日(土) 下草刈り(クヌギ林 残りがあれば)、製材(ケヤキ短材)、午後/運営会
- 11月18日(日) 友の会/定例会・理事会
- 11月21日(水) 炭小屋作業/ 当日決定 SF準備
- 11月24日(土) 下草刈り(池の上)、ZFC 通信印刷/発送、午後/勉強会(発電機・ウインチ 取り扱い)
- 11月28日(水) 炭小屋作業/ 当日決定 SF準備

### 別件

1. ドラム缶窯小屋の上の樹木の枝を切った方がよいのではとの意見あり  
作業方法と日にちを設定する
2. 12月の森ボラはZFC担当になっています。担当できる方を募集しています。  
現在 小島 星隈が決まっています。
3. 運営会は毎月第3土曜日に行っています。できるだけの参加をお願いします。

－ 以 上 －